

# ellipse

[エリプス]

## TOPICS

### 「こころ」と「からだ」の健康イノベーションを創出する ヒューマンライフイノベーション開発研究機構

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター  
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人  
お茶の水学術事業会

## REPORT

事業報告(共催講演会)  
お茶の水地理学会講演会  
「信州遠山郷-秘境の昨日今日明日-」  
(講師:磯前 睦子氏)  
夢のつばさ♥プロジェクトニュース

## INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報  
2018年度セミナー  
「こころとからだを拓くレッスン」  
事務局よりお知らせ

# 「こころ」と「からだ」の健康イノベーションを創出する ヒューマンライフイノベーション開発研究機構

## Organization for Human Life Innovation and Development

お茶の水女子大学は140年以上にわたり積み重ねてきた教育研究の実績や人材育成の経験を社会に役立てることをミッションと考え、そのための国際的な研究拠点づくりを進めています。

2015（平成27）年度には、グローバル女性リーダー育成の拠点として「グローバル女性リーダー育成研究機構」を開設しました。傘下に、男女共同参画推進の実施組織である「グローバルリーダーシップ研究所」と、日本におけるジェンダー研究の国際的拠点である「ジェンダー研究所」があります。

さらに、2016年4月には、人間の発達段階に即した心身の健康と生活環境の向上を意図したイノベーションを実現する教育研究拠点として、「ヒューマンライフイノベーション開発研究機構」を立ち上げました。

### キーワードは「QOLの向上」「シームレス」

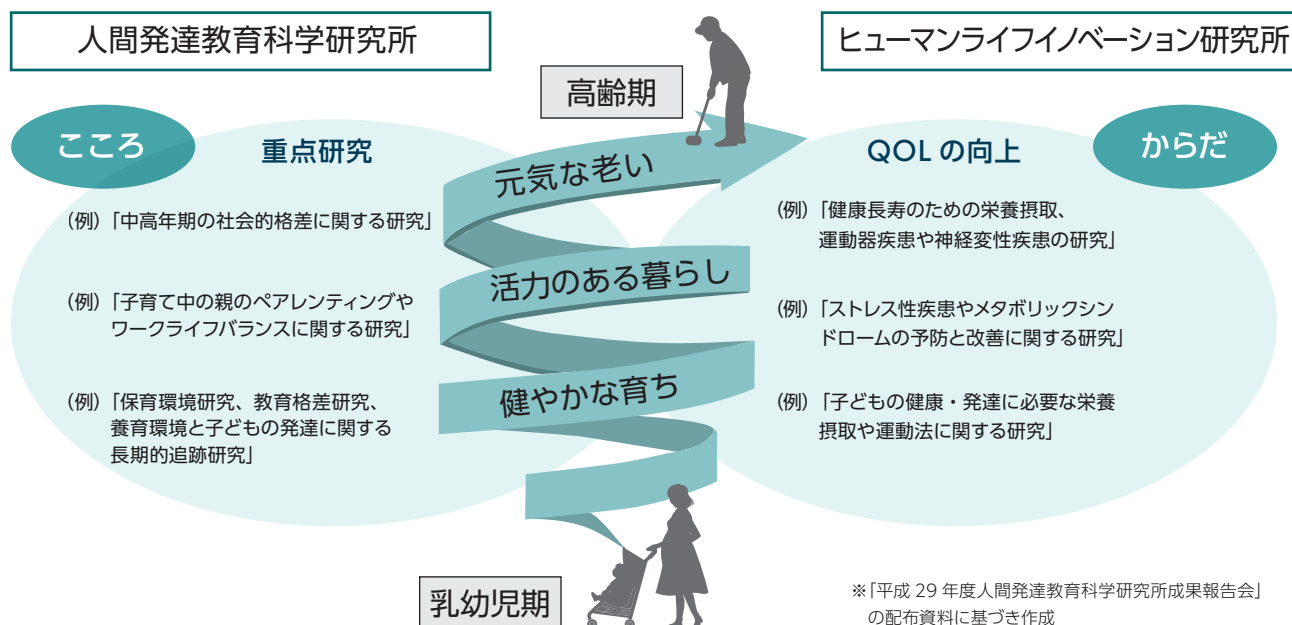
「イノベーション」とは、良い方向への大きな変化。

ヒューマンライフイノベーション開発研究機構は、その名のとおり、乳幼児から高齢者まで全世代を対象とし、「こころ」と「からだ」の両面から、QOLの向上に資する健康イノベーションを社会に向けて発信することを目的としています。

「一生を通じて健康で心豊かに過ごしたい」とは誰も願うことでしょう。しかしながら、現代の日本は、少子高齢化が進み、労働人口の減少、年金・医療・介護などの社会保障負担の増大、教育格差といった新たな社会問題が発生し、人々

の心身に大きな影響を与えています。

これらの課題に、大学の複数の研究分野を結集・融合し、さらに、附属学校園、いずみナーサリー、こども園、他大学や研究機関、企業、行政等と連携しつつアプローチしていく拠点となるのが、ヒューマンライフイノベーション開発研究機構です。ヒューマンライフというテーマで、理系／文系の枠を超えて、さまざまな研究・開発と教育をシームレスに結ぶこの組織は、「ヒューマンライフイノベーション研究所」と「人間発達教育科学研究所」から構成されています。



## ヒューマンライフイノベーション研究所

—健やかで活力ある人生を作る「こころ」と「からだ」の健康イノベーション創出—

生命科学・生活科学分野の研究者によって組織され、「生化・代謝学部門」「栄養科学部門」「食品科学部門」「糖鎖科学部門」「遺伝学部門」「発生・進化学部門」の6部門があります。目標として、

- 1) 健やかで活力と意欲ある子ども達の育成
- 2) 一生を通じたQOLの向上と健康寿命の延伸
- 3) ポジティブエイジングを目指した健康長寿の実現

の3点を掲げ、企業や他機関とも連携しながら、子ども達の心身の健全な発達を促進し、生活習慣病の克服や高齢者の健康長寿をサポートするための研究、医薬品の開発などを行っています。また、その成果も含めて、健やかに生きるための専門的知見の発信に努めています。例えば、2016年と2017年の12月には「病気やストレスに負けない“からだ”をつくるための健康イノベーション」をテーマとする公開シンポジウムを開催し（資料1・2）学外からも多くの参加者がありました。



資料 1

### 第1回公開シンポジウム

2016年12月13日開催

講演

- 《特別講演》「健やかな次世代を育むために—DOHaDの視点から—」（福岡 秀興）
- 「細胞外マトリックスが担う“からだ”の健康」（宮本 泰則）
- 「必須脂肪酸欠乏による代謝変化と病態」（市 育代）
- 「腸管粘膜の機能性と糖鎖」（相川 京子）

資料 2

### 第2回公開シンポジウム

2017年12月21日開催

講演

- 《特別講演》「うつ病と食生活習慣」（功刀 浩）
- 「膵臓消化酵素に発見した糖結合性と健康」（小川 温子）
- 「Beyond antioxidant：ビタミンEの新たな機能」（藤原 葉子）
- 「ステロイドホルモンの機能の制御と医薬展開」（棚谷 綾）

※詳細は <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/ihli/> をご参照ください。

## 人間発達教育科学研究所

—健やかで活力ある人生を送るために～『子ども期からのしあわせ』を考える—

「子どもの発達研究センター」（2002年度に設置、2008年度より「人間発達教育研究センター」を前身とし、人間発達に関する基礎研究と実践研究・臨床研究を結びつける中から、少子化を質的・量的に改善する施策や、子どもから青年期以降までの発達の質を向上させる施策の策定に貢献することを目標としています。研究所は、「保育・教育実践研究部門」、「人間発達基礎研究部門」、「発達臨床支援研究部門」の3つの部門から構成され、子ども期から高齢期までの生涯にわたる発達プロセスの実証研究、良質な保育教育実践や教育・社会格差に関する研究、さまざまな生活領域における心

理的支援に関する研究に取り組み、成果発信と提言を行っています（資料3）。

資料 3

### 人間発達教育科学研究所 H29 年度イベント一覧 (一部抜粋)

- “子ども学カフェ”第8回講演会「Good, Bad, and Unknown—子どもとメディア」（共催）
- 「子育て支援 in セブ島～現地コーディネータが語る～」
- 「音楽療法と発達理論～Schumacher 博士をお迎えして～」

- 「ひきこもりサポーター養成研修」
- 「第4回 ライフ×アート展（お茶の水女子大学関係者によるアート実践展覧会）」
- 第37回双生児研究会  
「The power of collaboration: lessons learned from the CODATwins project」（共催）
- 日本カリキュラム学会セミナー「教員養成・研修のカリキュラムをとともに考える」（後援）
- 人間発達教育科学研究所平成29年度シンポジウム「家庭の経済的不利と学齢期の子どもの諸問題」
- お茶大こども園スペシャル研修会「子どもが幸せに育つために」（共催）
- 第2回文京区立お茶の水女子大学こども園フォーラム（共催）
- CRN アジア子ども学交流プログラム（共催）
- 平成29年度人間発達教育科学研究所成果報告会

2018年3月21日に開催された、「H29年度成果報告会」では、人間の発達、保育の質や施設、外的刺激の影響など、主に人間の「こころ」への様々な角度からのアプローチが報告されました（資料4）。

資料4

### 人間発達教育科学研究所 H29 年度成果報告会

#### 概要

- 「長期ひきこもりを経験する若者の理解と支援」（青木紀久代・古志めぐみ）
- 「保育の質を測定する見守り尺度の開発」（内海緒香）
- 「多様性を生かす保育の創造—お茶大こども園2年目の歩みから—」（宮里暁美）
- 「平成29年度施設調査報告」（松本聡子）
- 「幼児における物体や内面に対する認知—中間報告—」（上原 泉）
- 「ぱちんこ遊技障害に関する研究—全国調査の結果と今後—」（坂元 章）
- 「受託研究：“青少年のテレビに対する行動・意識の形成とその関連要因に関する横断的検討”—『青少年のメディア利用に関する調査』—」（菅原ますみ）
- 「今後の研究・活動計画と課題等」（菅原ますみ）

※詳細は <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/iehd/> をご参照ください。

## 今後のビジョン

ヒューマンライフイノベーション開発研究機構は、2021年までの6ヵ年計画で「人が一生を通じて健康で心豊かに過ごすための研究・開発による活力ある社会環境の創出」プログラムを完成させることをビジョンとして活動していきます。

「健康寿命」が重視され、新聞、書籍、テレビ、インターネットなどに健康情報が溢れる一方、一人一人にヘルスリテラシーが求められるようになりました。そうした中、大学がエビデンスのある情報を紹介していくことには大きな意味があるでしょう。

	「こころ」と「からだ」の諸課題の解決	健康支援・教育プログラムの開発
2016年度	・重点研究の推進 ・研究成果の発信 （シンポジウム・セミナー・学会発表・論文掲載等）	関連する先行研究の総覧作成
2017年度		プログラム開発の全体計画策定
2018年度 [中間評価]		プログラムの開発
2019年度		開発したプログラムの実証・実践
2020年度		実証・実践結果に基づき、プログラムの改善及び社会への発信
2021年度 [最終評価]		

※「平成29年度人間発達教育科学研究所成果報告会」の配布資料に基づき作成

今年度も、早速5月に、人間発達教育科学研究所が、食べることと、からだやこころの状態を結びつける「マインドフル・イーティング」を紹介する国際セミナーを開催しました。また、9月には、ヒューマンライフイノベーション研究所が、糖鎖・レクチンについて学びたい学生・社会人を対象としたサマースクールを共催します（P7参照）。今後も、さまざまな形で、研究成果や情報が発信されていきますので、ぜひ、ご期待ください。

お茶の水女子大学  
人間発達教育科学研究所国際セミナー

### マインドフル・イーティング

**Mindful Eating:**  
**Eating Less and Enjoying It More**

日時 2018年  
5月15日(火) 15:00~16:30  
【場所】お茶の水女子大学文京区1号館1階第一会議室  
参加費：無料・事前登録は不要です

講師 Jean Kristeller Ph.D.  
(インディアナ州立大学名誉教授)

【司会・進行】大森美香（本学教授・IEHD所長）

マインドフル・イーティングは、食べること、私たちのからだやこころの状態を結びつけることです。具体的には、空腹感、満腹感、そして味覚という感覚に敏感になることによって、食べ物と私たちのからだとのより良い関係性を築いていきます。本講演では、マインドフル・イーティングの理論や基本概念を紹介し、またエビデンスについてもご紹介します。

【お問い合わせ】  
お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所  
E-mail : [info-iehd@cc.ocha.ac.jp](mailto:info-iehd@cc.ocha.ac.jp)

協力：ヒューマンライフイノベーション開発研究機構

参考：お茶の水女子大学 HP (<http://www.ocha.ac.jp/>)  
『大學新聞』トップインタビュー第71回（室伏きみ子学長、2016/07/20、<http://daigakushinbun.com/post/views/875>)

## ◆ 事業報告 共催講演会

● お茶の水地理学会講演会

「信州遠山郷  
— 秘境の昨日今日明日—」

講師 磯前 睦子 氏 (昭和 53 年卒)

【開催日時】 2017 年 12 月 2 日 (土) 14:00 ~ 16:00

【会場】 お茶の水女子大学 本館 306 室

【共催】 NPO 法人 お茶の水学術事業会

【参加費】 無料 【参加人数】 69 名

お茶の水地理学会は公益事業として、10 年以上にわたり、年に 1 回 (12 月)、様々な分野で活躍する方を講師に迎えて公開講演会を開催し、好評を博しています。2017 年度は地理学科の卒業生で、木曾や遠山郷の人々の生活・歴史・文化の掘り起こしをライフワークとしている磯前睦子氏に、秘境、隔絶山村と言われてきた遠山郷はどのようなところなのか、どのような変化をとげてきたのかを中心に、お話をいただきました。

## ● 講演要旨

2009 年に木曾の妻籠で出会った林業家から、ご両親が遠山郷から駆け落ちをして木曾に落ち着いたという話を聞いたのがきっかけで、翌年から遠山郷に通うようになった。

長野県の東南端に位置し、西は 2000m 級の伊那山地、東は 3000m 級の南アルプスに阻まれた険しい谷筋は、中央構造線が刻んだ谷であり、古来太平洋から内陸に続く天然の道であり、塩の道であった。その一部、北の地蔵峠、南の青崩峠で区切られた約 25 km が遠山谷であり長く秘境と呼ばれていた。下伊那郡上村と南信濃村の 2 村、主産業は林業で、1955 年頃の人口 8000 人をピークに、現在は 1800 人と人口減少は止まらない。2005 年に人口 10 万人の飯田市に編入合併された。



磯前 睦子 氏

標高 1000m の下栗地区には、南斜面の尾根筋に沿って集落が横に点在し、48 戸 98 人が暮らす。2008 年に「日本の里 100 選」に選ばれたのを機に、



地元の人々が展望ポイントを作り、「天空の里」「天下の絶景」などのキャッチフレーズで、観光に力を入れるようになった。

なぜこんな所に住んでいるのだろうかと素朴な疑問が湧く。静岡県側の狩猟集団が、今は途絶えている南アルプスを越える径を通り、この地に定住したと考えられている。田は一枚もなく、段々畑ではない斜面の畑で、自給的な畑作をする。昭和 30 年代までは焼畑が行われていた。

一方、遠山郷のほとんどの人が暮らす谷の下は、平地が少なく日照時間も短い。天竜川の最上流部にあたり河川の氾濫などの災害に度々見舞われたが、そこは街道筋にあっていた。険しい峠道ながら、遠州と信州を結ぶ最短ルートであり、暮らしを支える物流の道であった。戦国時代には、武田信玄が遠州に進軍し徳川家康と戦った軍用の道であり、江戸時代になると現・浜松市天竜区春野町の秋葉山秋葉神社に参詣する道として秋葉街道と呼ばれた。明治 14 年 7 月、英国外交官アーネスト・サトウはこの道を通って秋葉山へ行っている。しかし昭和 12 年に現在の JR 飯田線が全線開通したことにより、秋葉街道の往来は激減し、今日に至った。

下栗では仙人の雰囲気を持つ老人に出会った。明治以降、人々の移動手段は、馬車から汽車、自動車へと、どんどん高速になっていったが、下栗では昭和 40 年代まで車の通行は不可であり、一番奥の集落まで車が通るようになったのは昭和 61 年である。明治以降百年を経ても、下の谷から奥まで 3km から 10km、標高差 500m を、歩くことが唯一の移動手段。それが下栗に仙人のような老人がいる理由ではないだろうか。

「便利に暮らせるようにと、陳情を繰り返して道路を作ってもらったが、結果として、出ていくのにも便利になってしまった」という老人の言葉が重く響く。今では車がなくては暮らせない。仙人がいなくなるのも時間の問題だろう。

10 年後に開通予定の中央リニア新幹線は、品川 - 飯田を 40 分で結び、飯田から車で 1 時間の遠山郷は東京からの日帰り圏となる。今後大きく変化するであろう。

(お茶の水地理学会/事務局 東野真紀

講演要旨は磯前睦子氏による)

## 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。



### 2018年春の交流会



【実施期間】 2018年3月25日（日）

【開催地】 仙台市：宮城野区中央市民センター、生涯学習支援センター

【参加内訳】 小学生12名、中学生4名、高校生2名、専門学校生1名、学生ボランティアスタッフ20名（OB/OG含む）、社会人スタッフ3名

#### 【活動概要】

夢のつばさプロジェクトの春の交流会は今回で6回目となりました。当日の朝は曇り空で天候が心配されましたが、雨が降ることもなく、元気な19名の子ども達と賑やかな一日を過ごすことができました。

今回は、いつもはあまり一緒に遊んでいない子ども同士の交流を深めるという目標のもとに活動を行いました。午前中のお菓子作り企画では、グループに分かれて、まずはたこ焼き器でベビーカステラを作りました。その後、グループの仲間と一緒に、謎々を解きながらトッピングの材料を獲得して、それぞれチョコペンやマーブルチョコなどで飾り付けを楽しみました。年上の子が小さい子を手伝いながら、協力してカステラを作ったり、楽しそうに謎々を考えたり、トッピングをゲットして皆で大喜びしたり、さまざまな会話ややりとりがみられました。

この間、学生の代表たちと社会人スタッフは、生涯学習支援センターで保護者の方たちと懇談の時間を持ちました。夢のつばさの活動では、優しく面倒見がよく、周りに頼りにされている子の保護者の方から、学校では



なかなか自分が出せない様子だという話を伺いました。「家庭や学校とも違う場があることで、子どもの多面的な成長も促される」「いつも楽しみに参加しているが、夢のつばさという活躍する機会があって、本人もうれしいのではないかな」というお話が出ていました。また、「スマホやゲーム機のルールを、再度、夢のつばさで子どもたちに話してほしい」という要望も出されました。「宿泊行事の間は、保護者にとっても一息つける日々となっている」というお話も伺い、毎日、仕事と子育てで、心の休まる暇のないひとり親の方などのご苦労を感じ、少しでも役にたてることをうれしく思いました。

子どもたちは、午後は生涯学習支援センターに移動し、チームを変えてミニ運動会を行いました。2人3脚や借りもの（増脚）競争、3人4脚など、声をかけ合いながら、息を合わせてゴールを目指して競走し、あちこちで笑い声や声援が飛び交いました。最後はボール運びやドリブルなどを組み合わせたリレーを行い、大熱戦を繰り広げました。



一日を通して楽しい時間を共有して、子ども達は一層仲良くなった様子でした。こうしたつながりを今後もさらに深めて、子ども達にとって、夢のつばさがさらに温かで自分を育む場となっていけるよう、スタッフ一同、力を合わせて努力して参ります。いつも皆様が懐深くお支えくださいますことを心より感謝申し上げます。今後ともご支援をよろしくお願い致します。

（夢のつばさ♥プロジェクト）

#### ご寄附のお願い

【口座】 三井住友銀行 大塚支店（店番号227）普通1284200

【名称】 特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※ 夢のつばさプロジェクトの専用口座です。

ご寄附いただく際には、ご芳名、ご住所（連絡先）を下記までお知らせください。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org



# お茶の水女子大学 イベント情報

2018年6月以降に開催される各種イベントのお知らせです。

## 学部オープンキャンパス 2018 <http://www.ocha.ac.jp/event/oc2018.html>

スケジュールの詳細については決まり次第お知らせします。

※一部のイベントを除き、事前申込は不要ですので、直接会場へお越しください。

※混雑が予想されます。より多くの高校生が参加できるよう、付き添いの方の人数は一人までをお願いします。

2018年7月14日(土)	午後	理学部	全学科
2018年7月15日(日)	午前	生活科学部 A グループ (理系)	食物栄養学科、人間・環境科学科 説明会
	午後	生活科学部 B グループ (文系)	人間生活学科、心理学科 説明会
2018年7月16日(月)	午前	文教育学部 A グループ	比較歴史学、地理学、中国語圏言語文化、英語圏言語文化、教育学、音楽表現 説明会
	午後	文教育学部 B グループ	哲学・倫理学・美術史、日本語・日本文学、仏語圏言語文化、社会学、子ども学、舞踊教育学、グローバル文化学環 説明会

【問合せ】企画戦略課 (広報担当) TEL: 03-5978-5105 E-mail: info@cc.ocha.ac.jp

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2018年 6月30日(土) 13:30 ~ 17:00	<b>国際シンポジウム</b> <b>女性政治リーダーはいかにして「育つ」か?</b> 【基調講演】 ・野田聖子氏(総務大臣、女性活躍担当大臣、内閣府特命担当大臣、衆議院議員) ・陳善美氏(韓国国会議員、弁護士) 【パネルディスカッション パネリスト】 ・円より子氏(元参議院議員、女性のための政治スクール 校長) ・ヨハンナ・ウッカマン氏(ドイツ社会民主党常任理事、元党青年局全国代表) ・陳善美氏(韓国国会議員、弁護士) 【司会】 ・申琪榮(お茶の水女子大学ジェンダー研究所) ・大木直子(同 グローバルリーダーシップ研究所)	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学講堂(微音堂) 【主催】お茶の水女子大学グローバル女性リーダー育成研究機構 グローバルリーダーシップ研究所・ジェンダー研究所 【詳細】 <a href="http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/event/20180630sympo.html">http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/event/20180630sympo.html</a> 【問合せ】E-mail:info-leader@cc.ocha.ac.jp 【申込み】 <a href="https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Leadership/2018sympoGWL">https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Leadership/2018sympoGWL</a> 【言語】日本語・韓国語・英語(同時通訳あり)  グローバルリーダーシップ研究所 国際シンポジウム 申込 QR コード
2018年 7月15日(日)・ 16日(月) オープンキャンパス 12:30 ~ 12:50	<b>図書館ミニコンサート</b> ベヒシュタイン社製ピアノのコンサート 7/15 榎本鮎子(文教育学部 芸術・表現行動学科 音楽表現コース 2年) J. S. バッハ作曲 イギリス組曲 第2番 イ短調 BWV807 7/16 池田和音(文教育学部 芸術・表現行動学科 音楽表現コース 1年) S. プロコフィエフ作曲 ソナタ 第2番 二短調 Op.14	無料	【会場】附属図書館 1階ウェルカムラウンジ 【詳細】附属図書館 HP「コンサート情報」をご覧ください。 <a href="http://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html">http://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html</a> 【問合せ】E-mail: lib-serv@cc.ocha.ac.jp ※お申し込みは不要です。
2018年 8月4日(土) 14:00 ~ 17:00	<b>お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所</b> <b>公開連続講演会 リーダーシップ論 最終回</b> <b>「少子高齢社会における女性リーダーとリベラルアーツ」</b> ・基調講演 白波瀬佐和子(東京大学教授) ・パネルディスカッション 【パネリスト】山口一男(シカゴ大学教授)、北村節子(高エネルギー加速器研究機構監事)、野村浩子(淑徳大学教授)	無料	【会場】お茶の水女子大学 共通講義棟 2号館 201室 【主催】グローバルリーダーシップ研究所 【詳細】 <a href="http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/event/20180804leadership.html">http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/event/20180804leadership.html</a> 【問合せ】E-mail:info-leader@cc.ocha.ac.jp 【申込み】 <a href="https://bit.ly/2JrovoC">https://bit.ly/2JrovoC</a> 【託児】無料、先着 15名
2018年 9月6日(木)・ 7日(金)	<b>TIA ナノバイオサマースクール(糖鎖・レクチン)</b> 糖鎖と糖鎖認識分子であるレクチンの基礎から応用について学びます。 【対象】糖鎖、レクチンについて学びたい学生・社会人 【講義】「汎ブドウ糖ワールドの理由(わけ)」:平林淳(産総研) 「糖転移酵素」:工藤崇(筑波大) 「糖鎖構造解析」:亀山昭彦(産総研) 「合成化学で解き明かす体内糖鎖認識」:戸谷希一郎(成蹊大) 「糖と免疫」:川島博人(千葉大) 「糖と感染症」:白土東子(感染研) 「レクチンの精製と性質」:小川温子(お茶大) 「糖鎖科学データベースの活用」:木下聖子(創価大)	無料	【会場】お茶の水女子大学 共通講義棟 2号館 102室 【主催】産業技術研究所つくばイノベーションアリーナ推進本部 【共催】お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション研究所 【問合せ】 産業技術総合研究所 TIA 推進センター CUPAL 事務局 (E-mail:nanotech-cupal-ml@aist.go.jp) 【申込み】 Nanotech CUPAL ホームページ ( <a href="https://nanotechcupal.jp/nip/">https://nanotechcupal.jp/nip/</a> ) から

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2018年 9月16日(日) 9:20～10:50	お茶の水女子大学附属高等学校 学校説明会		【会場】お茶の水女子大学 講堂 【主催】お茶の水女子大学附属高等学校 【詳細】 <a href="http://www.fz.ocha.ac.jp/fk/menu/guidance/explanation.html">http://www.fz.ocha.ac.jp/fk/menu/guidance/explanation.html</a> 【問合せ】お茶の水女子大学附属高等学校 TEL 03-5978-5856 【申込み】事前申込みは不要です。直接、講堂においてください。
2018年 9月20日(木)	お茶の水女子大学附属小学校 開校140周年記念シンポジウム 「子どもから」の伝統が拓く明日の教育 —市民性の育成と新教科「てつがく」の挑戦— 【シンポジスト】小玉重夫、那須正裕、神戸和佳子 (コーディネーター：池田全之)	無料	【会場】お茶の水女子大学講堂(予定) 【主催】お茶の水女子大学附属小学校 【詳細】詳細は本校HPにてお知らせします <a href="http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/">http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/</a> (附属小学校HP) 【問合せ】E-mail: ocha-fs-koukai@cc.ocha.ac.jp 【申込み】7月上旬より、本校HPにて事前受付開始予定
2018年 10月29日(月) 8:30～受付 9:00～開会	平成30年度お茶の水女子大学附属中学校 教育研究協議会(帰国生徒学級創立40周年) 「帰国生の資質・能力を支える 生かす 伸ばす」 ①基調提案 ②公開授業I・II(各教科、コミュニケーション・デザイン科等) ③分科会 ④パネルディスカッション 「協働的な課題解決を支える思考・判断・表現の力を育てる授業づくり—新教科「コミュニケーション・デザイン科」の開発—(文部科学省研究開発学校延長指定)の成果と課題も活かしつつ取り組んでいます。		【会場】お茶の水女子大学附属中学校 【主催】お茶の水女子大学附属中学校 【詳細】 <a href="http://www.fz.ocha.ac.jp/ft/menu/resarch/d001961.html">http://www.fz.ocha.ac.jp/ft/menu/resarch/d001961.html</a> 【問合せ】お茶の水女子大学附属中学校：研究帰国部 TEL 03-5978-5865 FAX 03-5978-5863 【申込み】詳細は第二次案内(9月)でご案内事前申込制 ※当日受付も可
2019年 2月21日(木)・ 22日(金)	お茶の水女子大学附属小学校 第81回教育実習指導研究会 学びをひらく —ともに“てつがくする”子どもと教師—	一般 4000円 学生 2000円	【会場】お茶の水女子大学附属小学校 【主催】お茶の水女子大学附属小学校 NPO法人お茶の水児童教育研究会 【詳細】詳細は本校HPにてお知らせします <a href="http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/">http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/</a> (附属小学校HP) 【問合せ】E-mail: ocha-fs-koukai@cc.ocha.ac.jp 【申込み】11月下旬ごろ、本校HPにて事前受付開始予定
2018年12月 まで(予定) 特別公開日 7月14日(土) 13:30～16:30 7月15日(日)・ 16日(月) 9:00～16:30	お茶の水女子大学歴史資料館 企画展示 「女高師縁の教員と蔵書でみる 数学教育 —江戸から現代まで—」 東京女子師範・高等師範学校の歴代数学教員を通して 日本の算数・数学教育を紹介します。	無料	【会場】お茶の水女子大学 本館1階 歴史資料館 【詳細】 <a href="http://archives.cf.ocha.ac.jp/tenji_2018/">http://archives.cf.ocha.ac.jp/tenji_2018/</a> 【見学申込み】歴史資料館ホームページを確認の上、希望日の2週間前までにお申し込みください。 お茶の水女子大学 図書・情報課 歴史資料館窓口 E-mail: shiryoo@cc.ocha.ac.jp

## 理系女性教育開発共同機構シンポジウム

開催日時	イベント・講座名	参加費	備考
2018年 7月14日(土) 10:00～12:30	第11回リケジョ - 未来シンポジウム	無料	【会場】お茶の水女子大学 共通講義棟2号館102室 【主催】理系女性教育開発共同機構 【対象】女子中高生、保護者、教員、女子大学生
2018年 9月1日(土) 14:00～17:20	理系女性教育開発共同機構 シンポジウム2018	無料	【テーマ】理系女性が社会で活躍できるように教育ができること 【会場】お茶の水女子大学 本館306室 【主催】理系女性教育開発共同機構(奈良女子大学との合同開催) 【対象】教育関係者、大学生
2018年 9月15日(土) 14:00～17:00	第12回リケジョ - 未来シンポジウム	無料	【会場】お茶の水女子大学 本館306室 【主催】理系女性教育開発共同機構 【対象】女子中高生、保護者、教員、女子大学生

【お問合せ先】理系女性教育開発共同機構

TEL:03-5978-5825 E-mail: ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp

\*詳細は、理系女性教育開発共同機構HP(<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/>)をご確認ください。



## お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 2018年度秋学期

企業等で指導的立場（上位の管理職）に就くことを目指す女性を応援するために開設された学びとネットワーク構築の場です。

- 授業時間 13:30～15:00、15:10～16:40（プレ講座以外）
- 各講座中1回、ランチを兼ねて塾生同士のネットワークを構築するための交流会（ネットワーキングランチ）を開催します。

講座名	開講日時	主な内容／講師
秋学期9月 「企業会計（財務会計及び管理会計）」	2018年9月1日、8日、22日、29日（土）	ビジネスリーダーを目指す上で身に付けておきたい企業会計の重要な事項を学ぶ 【講師】中溝 恵津子 [中溝公認会計士事務所 公認会計士]
9月講座「企業会計」受講者向け プレ講座 ※プレ講座のみの受講はできません。	2018年9月1日、8日（土） 計2日間 いずれも10:30～12:00（90分間）	「企業会計」の受講にあたり、専門用語や財務諸表の読み方など、基礎的な簿記の知識を身につける。 【受講料】8,640円（2日間分） 【講師】櫻井 康弘 [専修大学 商学部 准教授]
秋学期11月 「経営戦略／マーケティング」	「経営戦略の基礎」 2018年11月3日、10日（土）  「マーケティング入門」 2018年11月17日、12月1日（土） ※開催日に注意	あらゆる「経営」には欠かせない戦略について、グループワークや講師との双方向のディスカッションを通して基本から学ぶ。 【講師】西原（廣瀬）文乃 [立教大学 経営学部 国際経営学科 助教]  顧客（マーケット）という「（見知らぬ）他者への思い」を巡らせながら、商品やサービスのあり方について、ワークショップ形式で議論していく。 【講師】神原 理 [専修大学 商学部 教授]

【受講料】1講座29,160円 ※初回お申込時のみ別途入塾料3,240円がかかります（お茶の水女子大学の卒業生・修了生は不要）。

【場 所】お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科棟 6階 604室

【申し込み期間】9月講座 2018年7月9日（月）～ 8月8日（水）必着

11月講座 2018年7月9日（月）～ 10月15日（月）必着

【お問い合わせ先】お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 事務局（水・金 午前10時～午後5時）

TEL：03-5978-5501 E-MAIL：kiin-le@cc.ocha.ac.jp

※詳細は、お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 HP (<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>) をご確認ください。

昨年、満席御礼のセミナーを今年も開講します。

### 「こころとからだを拓くレッスン」

インストラクター：猪崎 弥生 氏、落合 敏行 氏

私のからだは私だけのものです。  
私のからだを大切に大切に感じてみましょう。  
こころとからだはつながっています。  
からだはこころを映す鏡になります。  
こころが弱くなると、からだも弱くなります。  
こころが元気になると、からだも元気になります。  
からだの声を聞いて、こころを拓きましょう！

体操でもなく、ヨガでもない、からだからこころに働きかけるダンスです。決まった動きをなぞるのではなく、音楽に合わせて、からだから生まれる自然な動きがダンスになります。男女年齢を問いません。ダンスの経験がなくても、体操が苦手でも、大丈夫です。ぜひご参加ください。

【開催日時】2018年7月6日（金）、9月14日（金）10:00～11:30

【会場】お茶の水女子大学 Student Commons 2F マルチパーパス1

【受講料】1回につき500円

【持ち物・服装】飲み物、動きやすい服装（更衣室あり）

【定員】25名程度（先着順）

【申込み受付】2018年6月4日（月）～

メールまたはFAXに以下の内容をご記入のうえ、お茶の水芸術事業事務局までお申し込みください。

①件名を「セミナー申込み」としてください。②受講希望日（2回とも参加もOK）・③氏名（フリガナ）・④住所・⑤電話・⑥Email



猪崎 弥生 Yayoi Izaki



お茶の水女子大学理事・副学長。お茶の水芸術事業会理事。専門は舞踊学・舞踊芸術学。

上演活動では、2002年「場の記憶」、2004年「明日の眼差し」、2008年「荒地」が名古屋市民芸術祭審査員特別賞（舞踊部門）を受賞。2006年4月よりお茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース教授。

落合 敏行 Toshiyuki Ochiai



寺山修司主宰の演劇実験室・天井棧敷を経て、現在、企画集団「落合商店」主宰。H・アール・カオスや平山素子、大野慶人、館形比呂一などダンス音楽の作曲と生演奏、蜷川幸雄の演劇作品では楽士として舞台にも登場。

**お茶の水学術事業会 共催講演会・助成金事業 2018年度採択事業と2019年度事業の募集についてのお知らせ**

お茶の水学術事業会は、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一つとして以下の事業を行っています。

**1. 講演等の共催事業**

参加予定人数 50名以上の一般向けの講演会を対象とし、講師謝礼金の助成（上限3万円）、講師の交通費（実費）の支給等を行う。

**2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業（助成金の支給）**

以下の活動に助成金（「対象となる事業費」の2分の1以内、上限10万円）を支給する。

- (1) 学術・調査・研究・教育等の活動
- (2) 学術関連等の出版事業
- (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
- (4) 国際協力研究・教育支援事業
- (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

**2018年度採択事業**

**共催講演会**

**1. 桜蔭会山梨支部講演会**

「私の半生と出会った女性たち」

【講師】大村 智（北里研究所北里大学特別栄誉教授、2015年ノーベル生理学・医学賞受賞）

【開催日時】2018年5月7日 15時～17時

【会場】山梨県立図書館 多目的ホール

**2. 桜蔭会群馬支部講演会**

「ことばは子どもの未来を拓く～早期英語教育の是非をめぐって」

【講師】内田 伸子（お茶の水女子大学名誉教授）

【開催日時】2018年11月24日 14時～15時30分

【会場】ホテル ラシーネ新前橋 3階 ロイヤルオーキッド

**3. お茶の水地理学会講演会**

「グローバル化する世界に暮らす：現代ネパールの諸相」

【講師】森本 泉（明治学院大学国際学部教授）

【開催日時】2018年12月8日 14時～16時

【会場】お茶の水女子大学 理学部3号館701

**2019年度共催講演会・助成金事業の募集について**

【対象となる事業期間】2019年4月1日～2020年3月31日

【金額等】年間総額25万円を上限とし、数件を予定

【応募受付期間】2回に分けて受け付けます。

第一次：2018年10月1日～11月30日

第二次：2019年4月1日～5月31日

\*応募要項は2018年9月以降にHPに掲載します。

【事業の決定】期間内に申請のあった事業を一括して審査し決定します。

※お問合せ：お茶の水学術事業会事務局

Email: info@npo-ochanomizu.org

TEL: 03-5976-1478 (月～金 10時～16時)

**期間限定 キャンペーン中!**

「雅 Grace」がパワーアップして  
「潤 Mellow」が生まれました!



お茶の水女子大学長・室伏さきみ名誉教授監修

サイクリックピーエー(cPA)発見者、室伏さきみ名誉教授を囲むお茶の水女子大学の研究員達の研究の結晶が「潤 Mellow」を誕生させました。

\*サイクリックピーエー(cPA)配合  
(化粧品成分表示名：環状リゾホスファチン酸 Na)

《期間限定 半額キャンペーン中です!》

- ・メロウ化粧水 (81ml) 【通常価格】9,720円(税込)  
↳ 【特別価格】4,500円(税込)
- ・メロウ乳液 (50ml) 【通常価格】7,560円(税込)  
↳ 【特別価格】3,500円(税込)

【発売元・お問い合わせ】\*地方発送承ります。ご注文後に弊社よりご連絡致します。  
株式会社富山房インターナショナル 東京都千代田区神田神保町1-3  
www.fuzambo-intl.com / Tel: 03-3291-2578 (※平日9:00～17:00 / 土日祝日は休み)

**お茶大ゴルフ 好評発売中!!**



ご注文・お問合せは お茶の水学術事業会まで!

TEL&FAX 03-5976-1478

E-mail: info@npo-ochanomizu.org

- 本体価格 600円 \*消費税・送料が加算されます。
- \* 会員および大学・附属学校園の卒業生、教職員など、関係者の方には割引があります。
- 6袋(計12枚)入 ● ばにら・ちよこ・いちご味

**編集後記**

ヒューマンライフイノベーション開発研究機構の活動、学内で開催される様々な公開イベント…。意欲のある人に扉は開かれているのだと感じます。大学に限らず、身近にある学ぶ機会をキャッチして活かす、アンテナとゆとりを持ってほしいものです。

**広告募集**

このページに広告を掲載しませんか? 次号は2018年10月に2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問い合わせください。

**事務局**

**OPEN 月～金 10:00～16:00**  
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204  
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org  
http://www.npo-ochanomizu.org

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地  
東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学  
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線  
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線  
護国寺駅から徒歩8分

都バス  
大塚2丁目バス停すぐ